

就職委員会委員長・小島健一先生からのメッセージ

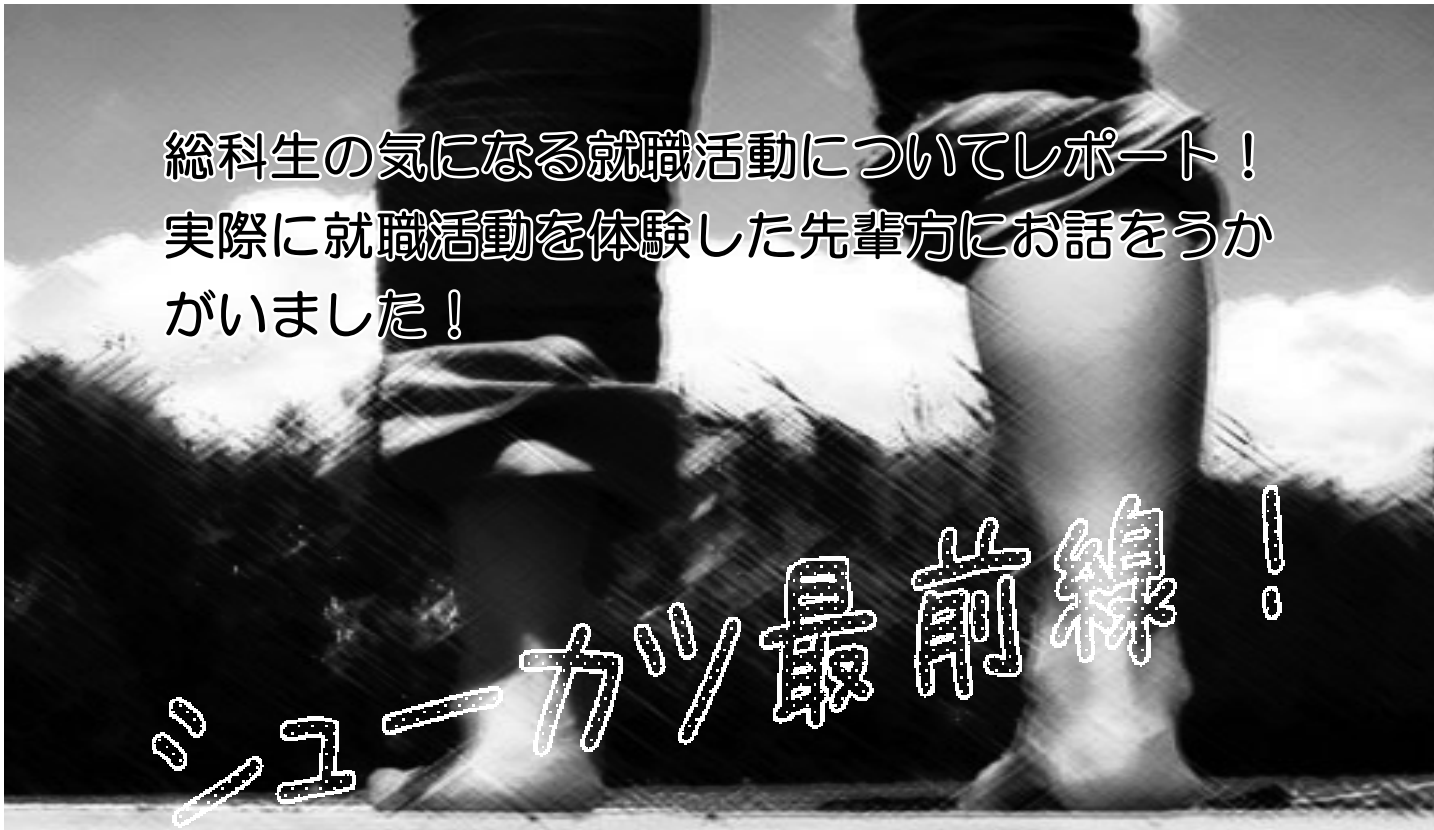
数年前まで言われていた「就職氷河期」という言葉がうそのような最近の就職状況です。

しかし、転職が不思議でない時代に、就職する機会が増えたからといって喜んではおれません。むしろ、これからの人生をどう生きていくかということのなかに働くことを組み込んでいくことが重要です。こうしておけば、会社が変わろうと担当が変わろうと新たな目標が見出せるはずですよ。

このようなことを考えるようになったのは、就職委員会の仕事をする事になり、最近の就職の目的が30年余りに就職を考えたわたしの経験とはずいぶん変わってきたと感じたからです。そのキーワードは「キャリア」という言葉です。働くことでキャリアを作っていく。この言葉は就職すれば人生が保障されたと考えていた私のころの就職観とはずいぶん違ったものです。

総合科学部は皆さんのキャリア形成に役立つでしょうか。この間に私は自信を持って「イエス」といえます。理由は、総合科学部には社会のさまざまな課題の研究や、その基礎的研究に取り組む多くの教員がおり、皆さんが社会に出てぶつかる前に、学部で学べるからです。ですから、教員を活用して学んでください。そして社会や自分というものを見つけて下さい。

今回、飛翔の編集委員の方をお願いして、就職活動体験記を載せていただくことにしました。これは、教員だけでなく、先輩の体験も多くの皆さんに活用してもらうためです。また、皆さんのキャリア支援の事務組織として学部生と大学院生のために学生支援グループがありますし、広島大学には、キャリアセンターもあります。キャリア形成という「海」に乗り出す皆さんを教員・職員一体となって支えますので、ぜひとも使いこなしてください。



総科生の気になる就職活動についてレポート！
実際に就職活動を体験した先輩方にお話をうかがいました！

「ユーカーズ最前線！」

先輩のシューカツ体験記01

Aさん（総科・4年）／業種（メーカー）内定

Q. 就職活動をはじめた時期は？ _____ 去年の1月初めごろ

Q. 何社受けましたか？また、内定を貰ったのはその内何社ですか？

- ・エントリーシートを提出した企業……15社
- ・面接を受けた企業…… 8社
- ・内定をもらった企業…… 2社

Q. 会社から内定をもらった時期は？ _____ 4月の終わり

Q. 今の会社を受けた理由・決め手は？

実はこの会社にはエントリーシート（注1）を提出していなかったのですが、プレエントリー（注2）をしていたため、大学OBの方からぜひエントリーシートを提出してくださいと連絡を頂き、受けました。希望していた「インフラ事業に強い大手メーカー」の一つであったことと、面接をしてくださった社員の方々の人柄に魅力を感じ、この会社なら自分らしく働けると思い、決めました。

Q. これはやっておけばよかった……と思ったこと

筆記テストの勉強・業界研究

Q. 役に立つorおすすめ就活グッズがあれば教えてください。

- ・ポータブルミュージックプレーヤー
（就職活動中は移動が多くなるので、その間に音楽があるといいと思います。また面接に向かう道中など、好きな音楽を聴いてリラックスすることができました。）
- ・チョコレート
（ストレスを和らげるチョコレートを常に持ち歩いていました。）
- ・ノート
（説明会に行ったときはその内容や印象を書きとめ、面接では聞かれた質問や、その質問にどう答えたかを記録するようにしていました。課題も見つかりますし、次の面接に活かすことができます。）

Q. 失敗談

初めての面接が当時の第一希望の中の一つの企業で、緊張しすぎて面接官の方の質問に対する答えが全く関係のない方向に進んでいってしまって後悔しました。最初に何社か練習で受けてみるというのもいいかもしれません。

Q. 後輩に一言

就職活動では、志望の企業に落ちてしまったり、落ち込むこともあると思いますが、自分とは縁がなかったんだと切りかえて、前向きに活動していくことが大切だと思います。皆さん、後悔のないように、体に気をつけてがんばってください。

Q. どんな社会人になりたいですか？

常に夢や目標をもっていたいです。仕事を一生懸命することはもちろんですが、出会いを大切に、人として成長していきたいと思います。

先輩のシューカツ体験記02

総科ししまるさん（総科・4年）／(株)富士通中国システムズ 内定

Q. 就職活動をはじめた時期は？ _____ 3月（3年の終わり）

Q. 何社受けましたか？ また、内定を貰ったのはその内何社ですか？

- ・面接を受けた企業……20社
- ・内定をもらった企業……4社

Q. 会社から内定をもらった時期は？ _____ 6月中旬

Q. 今の会社を受けた理由・決め手は？

地元には本社があり、かつ、やりたい仕事ができそうだった。決め手となったのは内定者懇談会にでたときに、社員の方々がおもしろい人が多かったので。

Q. どんなことをアピールしましたか？

「自分はコンサートスタッフでチーフをやっていたので、チームリーダーをやる力とチームワークを大事にする心を持ってます」というようなことを。自分の業種は特にリーダータイプでチームワークを大切にできる人が欲しがられるので、それに関係することをアピールしていた。目指す業種のことをよく調べて、どんな人が欲しがられるかを知り、それに関係するようなエピソードを自分の経験から探していくのが良いと思う。関係するようなエピソードがなくてもムリヤリ関係付ける。この辺は慣れ。

Q. これはやっておけばよかった……と思ったこと

面接の数をこなす事。もともと喋る事が得意な性格だったので、先輩達から「面接慣れしておいた方がいいよ」という忠告をされても「自分だけは大丈夫だろう」という思い込みがあった。しかしながら、実際は緊張しまくりのボロボロだった。それも数をこなせば大丈夫になってきたので、面接慣れというのは本当に大事だと思った。本命の前に、業種が異なってもいいから4～5社くらいは面接を受けておかないと話にならないかもしれない。

Q. これはやっておいてよかった！と思ったこと

台本作りと復習。面接は台本を作って喋る事がある程度まとめ、面接後、その台本の反省と修正をしていくことが大事。

Q. 役に立つorおすすめ就活グッズがあれば教えてください。

移動時間が非常にヒマになる。何か時間つぶしできるものは用意するべき。

Q. 失敗談

面接でプチギレしてしまった事。圧迫面接（注3）だったのだが、そのあまりの言動の厳しさに思わず言い返してしまった。そしてその後にあった論文の試験も、ほとんど何も書かないで退席。そもそも圧迫面接というのは相手の出方を伺うものなので、挑発に乗ってしまったら負け。自分を貫ければそれで良いと思った。

Q. 後輩に一言

自分は6月中旬まで内定0で、その一週間で4つ内定が出た。就職活動は何が起こるか分からない、いつ内定がでるか分からないものなので、内定がなかなか出なくても焦らずマイペースで。このマイペースというのは大事。

Q. どんな社会人になりたいですか？

仕事はしっかりこなし、飲み席ではバカ騒ぎできるような社会人。いつまでもそうでありたい。子供心は忘れたらダメです。

▽注1；エントリーシート

E Sとも略される。自己PRや志望動機などについて、企業が出した質問項目に対しての詳しい回答。大きな企業では採用試験の1次選考として、その他でも2次選考などで振り分けに用いられる。履歴書と同じくらいE Sを重要視する企業も多い。最近ではネット上から送信するのが主流。

▼注2；プレエントリー

ネット上の就職情報サイトなどから企業に自分の個人情報を送り、その企業に興味や関心があることを伝えること。プレエントリーしたからといってその企業を受けなければいけないわけではない。

▽注3；圧迫面接

「キミの考え方には納得できない」とか「それで給料もらえると思っているの？」など、学生の答えに対して、面接担当者が次々と突っ込んだり、考えを否定したりして、精神的揺さぶりをかけて、学生の対応力を判断する面接のことをさす。

☆キャリアセンターとは？

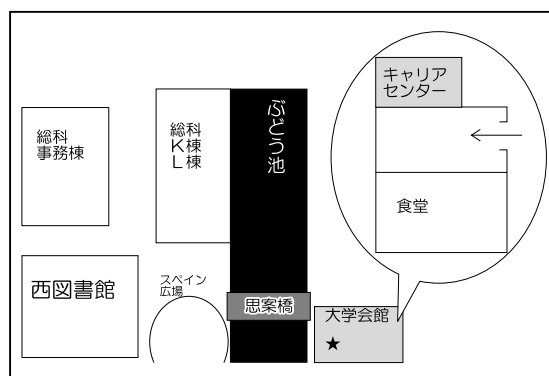
就職活動に必要な情報・ノウハウの提供や就職相談を行う施設。場所は総合科学部からも近い学生会館2階。

・広島大学キャリアセンター

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/kyaria/index.html>

また、上記サイトには企業セミナーやガイダンスの日程、公務員試験や一般企業受験向けのリンクなどもあります。

相談員さんによる進路・就職相談も実施（要予約）。



☆編集員から

今回、お二人の先輩に就職活動に関する質問への回答をお願いしました。お忙しい中、時間を割いて寄せてくださった実際の就職活動を体験してのお二人の言葉は、これから就職活動を行う人には具体的な参考に、まだ漠然としか就職を考えたことが無い人にも、考えるきっかけになるかと思います。「常に夢や目標をもっていたい」「子供心は忘れてたらダメ」。お二人が理想とするのは、どちらも仕事だけではないメリハリのある社会人像でした。モチベーションは高く、また人と人とのコミュニケーションを大事にする、というお二人の姿勢が印象に残りました。

広島大学では学内ガイダンスやインターンシップに参加できる授業などもあります。まだ就職について漠然としか考えていない人も、まずはそこから足を運んでみてはどうでしょうか。

(担当 17生 見世 梨沙)